

教師用 指導案

1. テーマ・授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授業1 「パラリンピックってなんだろう？」

2. 授業の目標

- ・パラリンピックの特徴や発展について学び、諦めないことの大切さや、限界に挑戦することの尊さ、工夫すればできることが増えるという気持ちを醸成する。
- ・パラリンピックへの興味関心を深め、東京大会に向けて高揚感を引き出し、「応援に行きたい」「パラリンピックについてもっと学びたい」「自分も関わりたい」という気持ちになる。
- ・パラリンピック大会の究極の目的である共生社会の構築、すなわち「誰もが受け入れられる社会をつくるにはどうすればよいか、何ができるのか」について考えるきっかけとなる。

3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の「福祉」の授業での活用。
- ・中学校では、道徳の「他者の理解」「共生社会」などの視点における事例学習として活用。
- ・保健体育のカリキュラムに盛りこむことも可能だが、その際、評価の視点を新たに設ける必要がある。
※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・パラリンピックについてあまり知らないことを前提とした展開をとっている。クラスの状態に合わせて、導入方法を適宜変えるとよい。
- ・教師の一方的な説明にならないように、生徒の気づきを大切にし、より興味を持てるような展開（クイズや映像の使用）に留意する。
- ・創意工夫や諦めない気持ちを持つことの大切さは、パラリンピアン（パラリンピックに出場したことのある選手）に限ったことではなく、自分たちも同じであることに気づかせたい。
- ・パラリンピックの意義、共生社会の構築について自分の意見を持ち、各自が自分の言葉で表現できるように指導を工夫する。

5. 準備物

- ・授業用シート（1-1）
- ・教師用授業ガイド（1-1）
- ・生徒用ワークシート（1-1）
- ・映像資料 DVD：リオパラリンピック大会ダイジェスト



〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 (引き出したい生徒の言葉)	指導上の留意点・配慮事項 (教師の活動)	準備物／教師参照物
導入 (15分) 【15分】 目安 映像：3分 個人ワーク：3分 発表：9分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">【パラリンピックってなんだろう？】</div> <p>(1) リオパラリンピックの映像を見て、「楽しそう」「面白そう」などの感想や「なんだろう？」という疑問を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見る。 ・ワークシートに感想を記入する。 <p>(2) これからパラリンピックについて学ぼうという意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 「かっこいい」 「わくわくした」 ・パラリンピックの意義と価値を知る。 	<p>(1) 導入は以下に2つを例示するが、クラスの学習経験、パラリンピックの知識によって変えてよい。</p> <p>導入① すぐに映像を見せ「この映像は何？」と聞く展開でもよい。これがパラリンピックの映像であり、オリンピック同様に速かったり、かっこよかったりすることを伝え、これからの学習への興味関心を引き出す。</p> <p>導入② 「パラリンピックについて知っていること」について発表させ、パラリンピックについて学ぶ姿勢をつくった後に、映像を見せる展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表内容がよい時は、大いにほめる。 <p>(2) ・板書をする、または、A3の授業用シートを黒板に貼ると効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表は様々なパラリンピックへの気持ちを取り上げたい。そして、パラリンピック学習に意欲を持たせる。 ・発表を行った後、「パラリンピックの価値」について解説を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (1-1) ・教師用授業ガイド (1-1) ・生徒用ワークシート (1-1) ・映像資料 DVD： リオパラリンピック 大会ダイジェスト
展開① (10分) 【25分】	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">【クイズで知ろう！ パラリンピック】</div> <p>クイズに取り組むことで、パラリンピックへの興味関心を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの答えの記入は、状況を見て実施する。挙手でテンポよく進めてもよい。 ・どのクイズも写真をよく見せて、既知の学習事項なども取り上げることで、生徒の解答への思考を促す。 <p>※クイズは全5問用意してあるが、3問程度を選択してもよい（出題しないクイズの内容は、プラスアルファ情報として提供するなど工夫をする）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (1-1) ・教師用授業ガイド (1-1) ・生徒用ワークシート (1-1) 【教師参照】 ・教師用ハンドブック



時間	学習活動 (引き出したい生徒の言葉)	指導上の留意点・配慮事項 (教師の活動)	準備物／教師参照物
展開② (15分) 【40分】 目安 解説：5分 ディスカッション： 10分		<ul style="list-style-type: none"> ・教師用授業ガイドのプラスアルファ情報は、すべて伝えなくてもよい。また、単に伝えるのではなく、「どういった特徴があるのか」「何のためか」など、生徒を巻き込み、もっと調べたい、知りたいという気持ちにさせる。 ・教師が知らないことがあっても、「先生も知りたいから、一緒に調べていこう」と、一緒に学ぶ姿勢を見せることで、答えは自分たちが調べたり、考えたりして導き出すことに気づかせる。 	【教師参照】 ・教師用ハンドブック
	【パラリンピックの進化】(参加国・地域が増えてきたのはなぜ?) <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックに参加する国・地域が増加した理由をグループごとに考える。 ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの誕生について、解説を行う。 ・ディスカッションは、「障害のある人たちのスポーツをする権利が認識されたり、社会の中にあるバリアを減らすことの必要性に気づく人が増えてきた」ことに気づかせるように助言を行う。 	
まとめ (10分) 【50分】	授業を振り返り、東京 2020 大会に向けての社会の変化について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 1964 大会と「太陽の家」の関係や、東京 2020 大会に向けた東京メトロの事例を見せた上で、東京 2020 大会をきっかけに社会がどのように変わるかを考えさせる。 ※ホームドアなどのインフラ面での充実も重要であるが、人の意識を変えることも大切であることに気づくように助言を行う。 〈助言例〉 「障害のある、なしに関係なく一緒に暮らせる社会（共生社会）ってどんなだろう？」 「障害のある日本語が通じない人に手を貸すためには、どうすればいいかな？」 「パラスポーツはどのように変わっていくかな？」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (1-1) ・教師用授業ガイド (1-1) ・生徒用ワークシート (1-1)